

(様式1)

平成24年10月3日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月3日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 2	0.127	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 2	0.029	0.023	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 2	1	0.039	0.039	0.043
	2	0.042	0.041	
	3	0.040	0.043	
	4	0.043	0.042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月9日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	18 (10)	38 (11)	56
H24. 9. 4	ND (12)	ND (16)	ND
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月9日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 5	0.120	0.097

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 5	0.029	0.023	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 9	1	0.046	0.044	0.043
	2	0.043	0.038	
	3	0.047	0.049	
	4	0.039	0.040	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月5日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月5日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 4	0.126	0.095

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 4	0.027	0.022	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 5	1	0.046	0.047	0.043
	2	0.045	0.047	
	3	0.047	0.047	
	4	0.042	0.045	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月4日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月4日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 3	0.120	0.096

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 3	0.029	0.022	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 4	1	0.042	0.041	0.042
	2	0.049	0.048	
	3	0.040	0.042	
	4	0.042	0.043	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月10日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月10日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 9	0.124	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 9	0.028	0.023	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 10	1	0.043	0.038	0.043
	2	0.043	0.049	
	3	0.044	0.047	
	4	0.045	0.042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月12日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	18 (10)	38 (11)	56
H24. 9. 4	ND (12)	ND (16)	ND
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月12日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 11	0.122	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 11	0.030	0.022	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 12	1	0.039	0.043	0.043
	2	0.037	0.040	
	3	0.037	0.044	
	4	0.039	0.048	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月11日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月11日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.10.10	0.115	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.10.10	0.027	0.021	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.10.11	1	0.041	0.045	0.042
	2	0.043	0.050	
	3	0.045	0.044	
	4	0.041	0.038	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.7.17	ND (13)	13 (11)	13
H24.9.4	19 (18)	29 (18)	48
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成 24 年 10 月 15 日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月15日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 12	0.120	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 12	0.031	0.022	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 15	1	0.039	0.048	0.043
	2	0.047	0.045	
	3	0.044	0.043	
	4	0.041	0.045	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月16日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月16日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 15	0.114	0.095

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 15	0.029	0.028	0.001

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 16	1	0.044	0.044	0.043
	2	0.044	0.042	
	3	0.042	0.039	
	4	0.041	0.047	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月17日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月17日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 16	0.112	0.094

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 16	0.029	0.022	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 17	1	0.042	0.040	0.043
	2	0.050	0.045	
	3	0.046	0.047	
	4	0.044	0.042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月18日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月18日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 17	0.119	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 17	0.028	0.023	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 18	1	0.041	0.044	0.046
	2	0.046	0.041	
	3	0.035	0.038	
	4	0.041	0.052	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月22日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成 24 年 10 月 22 日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 19	0. 122	0. 100

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 19	0. 030	0. 022	0. 008

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 22	1	0. 049	0. 043	0. 043
	2	0. 041	0. 045	
	3	0. 039	0. 044	
	4	0. 041	0. 042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月19日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月19日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 18	0. 118	0. 095

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 18	0. 027	0. 022	0. 005

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 19	1	0. 040	0. 045	0. 043
	2	0. 044	0. 039	
	3	0. 039	0. 040	
	4	0. 039	0. 045	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月26日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月26日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 25	0.101	0.124

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 25	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 25	1	0.041	0.043	0.043
	2	0.043	0.039	
	3	0.041	0.042	
	4	0.046	0.044	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 4	ND	(13)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月25日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月25日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.10.24	0.119	0.094

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.10.24	0.027	0.022	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.10.25	1	0.047	0.040	0.043
	2	0.040	0.039	
	3	0.046	0.044	
	4	0.043	0.042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.7.17	ND	(13)	13	(11)	13
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.4	ND	(13)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月24日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成 24 年 10 月 24 日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 23	0. 132	0. 110

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 23	0. 032	0. 026	0. 006

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 24	1	0. 044	0. 047	0. 049
	2	0. 044	0. 046	
	3	0. 046	0. 043	
	4	0. 040	0. 042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 4	ND	(13)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月23日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月23日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.10.22	0.117	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.10.22	0.033	0.026	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.10.23	1	0.053	0.051	0.043
	2	0.053	0.053	
	3	0.049	0.054	
	4	0.055	0.058	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.7.17	ND	(13)	13	(11)	13
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.4	ND	(13)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月29日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成 24 年 10 月 29 日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 26	0. 123	0. 101

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 26	0. 032	0. 023	0. 009

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 29	1	0. 043	0. 042	0. 053
	2	0. 041	0. 049	
	3	0. 042	0. 043	
	4	0. 036	0. 042	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 4	ND	(13)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月30日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月30日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 29	0.118	0.097

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 29	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 30	1	0.043	0.042	0.043
	2	0.038	0.039	
	3	0.046	0.043	
	4	0.042	0.040	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 4	ND	(10)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月31日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年10月31日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 10. 30	0.121	0.102

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 10. 30	0.030	0.021	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 10. 31	1	0.048	0.041	0.043
	2	0.043	0.043	
	3	0.037	0.037	
	4	0.044	0.039	
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	ND	(13)	13	(11)	13
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 4	ND	(10)	ND	(11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。